

担当教員 南 真木人				
開始時期 前期	開講期間 半期	科目番号 20DRSb06	授業形態 講義	単位 2
キーワード ネパール、ブータン、包摂、カースト/ 民族間関係		対象学年 1年	聴講・参加資格 専攻	
科目名称：日本語 南アジア文化研究特論				
科目名称：英語 Proseminar (South Asian Studies)				
科目の概要：日本語 ネパールの現代政治と社会的包摂				
科目の概要：英語 Current Politics Toward Social Inclusion in Nepal				
科目の目的： ネパール、ブータン等の南アジア北方地域における近年の社会変化を把握し他地域と比較する視点を養成することを目的とする。				
学習成果・習得する技能や知識： 北方南アジアの現況を理解するとともに、研究の動向をおさえる。				
成績評価方法・基準： 授業への参画度（40%）、レポート（60%）				
授業内容： 北方南アジアにおける人口移動、民主化と国民形成、包摂とカースト/民族間関係、社会運動等のテーマを取り上げ、近年の社会変化を多面的に考察する。授業は講義と一部討論で構成する。講義のトピックは以下を予定する。 1～2. ネパールの2015年新憲法と社会運動 3～4. ブータンの国民幸福度、環境主義 5～6. インドの西ベンガル州ダージリン地方・シッキム州の民族運動 7～8. 国際労働移民と北方南アジア 9～10. 社会的包摂とカースト/民族間関係および国家				
日程： 木曜日午後（時間は履修者と相談）				
実施場所： 民博4階、演習室				
使用言語： 日本語				

準備学習：

毎回の授業で課題を出す

関連科目・履修条件：

なし

教科書・必読書：

なし

参考書・その他の教材：

石井溥編 2005『流動するネパール—地域社会の変容』東京大学出版会。マンジュシュリ・タパ
2006『ネパールの政治と人権—王政と民主主義のはざままで』（萩原律子・河村真宏監訳）明石書店。南真木人・石井溥編 2015『現代ネパールの政治と社会—民主化とマオイストの影響の拡大』明石書店。

備考：日本語

地域文化学・比較文化学の2専攻の学生のみ申請可